

アクセス〈交通のご案内〉



車でお越しの場合

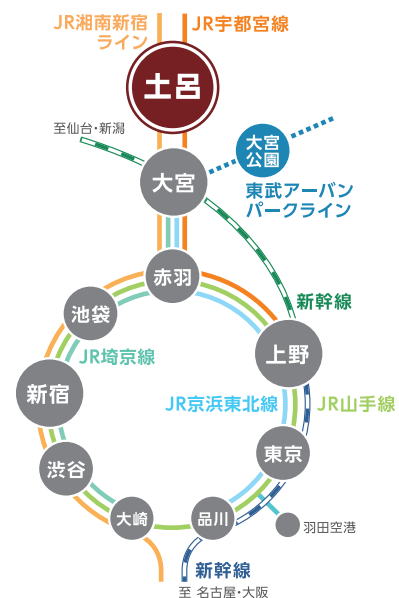
- 首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより約18分
- 東北自動車道「岩槻」ICより約21分

電車をご利用の場合

- JR(宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)
「土呂駅」東口より徒歩11分
乗車時間:大宮駅→土呂駅(3分)／浦和駅→土呂駅(11分)／久喜駅→土呂駅(17分)
- 東武アーバンパークライン(東武鉄道)
「大宮公園駅」より徒歩9分
乗車時間:大宮駅→大宮公園駅(4分)／春日部駅→大宮公園駅(17分)
※上記時間は目安としてご利用ください

乗合タクシーをご利用の場合

- 土呂駅(東口)→彩の国東大宮メディカルセンター→東大宮駅
土呂駅からお越しになる際などご利用ください。
当院にはメインエントランス前に発着いたします。



医療法人社協友会
彩の国東大宮メディカルセンター



2504500

お問い合わせ

TEL.048-665-6111

FAX.048-665-6112

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522



WEBサイト
<https://www.shmc.jp>

彩の国東大宮メディカルセンター 検索



モバイル

携帯電話で右のQRコードからアクセスしてください。



医療法人社協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

Hospital Information 病院案内





私たちはホスピタリティの精神で
患者さんと感動を共有し
高度の急性期医療で地域に貢献します

病院理念

愛し愛される病院

1. 職員ひとりひとりの成長を支援する
2. 医療の質を高める努力を継続する
3. すべての顧客（ステークホルダー）の満足度を高める
4. 健全な経営を行う

基本方針



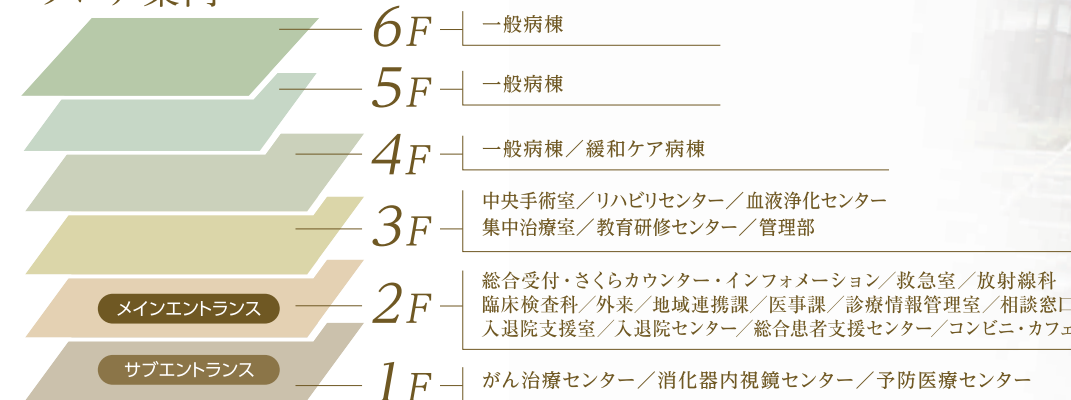
当院の特徴は、診療科や職種を越えたチームワークの良さです。特にがん診療の面では、診断から手術、放射線治療、化学療法、さらに緩和ケアまで、高い知識と技術を身につけたプロフェッショナルの力を集約して、質の高い医療を提供しております。また救急医療においても、より多くの患者さんに、より早く高度の治療を提供する体制を整えております。

もうひとつの特徴は「患者さんに寄り添う心」です。心身を病んだ患者さんに癒しを提供しようと、院内は木と水をイメージしたインテリアで、安らぎの環境を作っております。このような環境は私たち職員にとっても、伸びやかに自分の力を発揮し、心から患者さんに寄り添うことができる力を与えてくれます。

どうぞ安心して、彩の国東大宮メディカルセンターをご受診くださいますようお願い申し上げます。

ふじおか すすむ
院長 藤岡 丞

フロア案内



診療科部門一覧

診療科	各種部門
〈診療科〉 内科／循環器内科／消化器内科／呼吸器内科／脳神経内科／腎臓内科／糖尿病代謝・内分泌内科／血液内科／リウマチ科／緩和ケア内科／外科／消化器外科／乳腺外科／肛門外科 腫瘍内科／整形外科／形成外科／脳神経外科／心血管外科／耳鼻咽喉科／眼科／泌尿器科 婦人科／皮膚科／麻酔科／放射線診断科／放射線治療科／リハビリテーション科／救急科 病理診断科／歯科口腔外科	〈看護部〉 病棟／外来／手術看護科／集中治療看護科／がん治療センター看護科 救急看護科／内視鏡センター看護科／血液浄化センター看護科 予防医療センター看護科／認定看護師室
〈専門外来〉 鼠径ヘルニア外来／肩・肘関節外来／肝臓外来／皮膚・排泄ケア外来／禁煙外来／スリープサロン／ペインクリニック／ロボット支援手術／泌尿器癌外来／前立腺肥大症外来 尿路結石症外来／男性更年期外来／女性泌尿器外来／痛風・高尿酸血症外来／甲状腺外来 もの忘れ外来／フットケア外来	〈薬剤部〉 調剤製剤科／薬剤管理科／薬物療法支援科
〈専門治療〉 放射線治療／腹腔鏡下手術／肝胆脾外科手術／脳血管内治療／経皮的冠動脈形成術（PCI） ロボット支援（ダビンチ）手術／経尿道的腎尿管結石破碎術（f-TUL） 経尿道的レーザー前立腺切除術（HoLEP）	〈診療技術部〉 放射線科／臨床検査科／リハビリテーション科 臨床工学科／栄養科／診療補助科
	〈事務部〉 医事課／総務課／情報システム課／健康管理課／経理課／施設課 診療情報管理室／防犯・安全課／保育室
	〈院長直轄〉 業務サポート課／医療安全管理課／感染管理課／臨床研修センター 総合患者支援センター（地域連携課・入退院支援室・患者サポート室）
	〈診療部〉 医療クラーク課

患者さんの権利

- I. すべての患者さんが平等で、安全な医療・ケアを受けられる権利
- II. 人間としての尊厳を保ち、医療を受けられる権利
- III. 治療・ケア・サービスの内容について分かりやすい説明を受ける権利
- IV. セカンドオピニオンを聞く権利
- V. 十分な情報を得た上で、患者さん・ご家族が自らの意思で治療・ケア方針を決定あるいは拒否できる権利
- VI. 個人情報・プライバシーが守られる権利
- VII. 診療録の開示が得られる権利
- VIII. 治療・ケアに対する懸念、倫理的な問題について相談できる権利
- IX. 不当な扱いやあらゆる虐待のない環境で治療・ケアを受けられる権利
- X. 信仰にそった治療・ケアを受ける権利

患者さんへのお願い

1. 最良の医療を行うため、氏名、住所、電話番号、生年月日、保険番号や雇用主などの情報を正確に伝えてください。
2. 現在の病状、過去の疾患、入院歴、服薬歴（市販の薬品も含む）、その他健康に関連する正確な情報を伝えてください。
3. 急激な病状の変化にそなえた事前指示がある場合は、医師や病院職員にお話ください。
4. 診断・治療などの説明を受け、よく理解できないときには納得ができるまでお尋ねください。もし治療・ケアなどにご協力いただけない場合には患者さんに責任が発生します。
5. 痛みを含めた症状を正確にお伝えください。その上で、治療計画と一緒に参加し治療方針の決定にご協力ください。
6. 貴重品は自宅に保管していただき、入院・外来に必要なもののみご持参ください。
7. 病院の規律をお守りください。また、すべての患者さんが適切な医療を受けられるために、他の患者さんの治療に支障を与えないようご協力ください。
8. 医療費の説明を受けていただき、ご納得いただけましたらすみやかにお支払いいただけますようお願いいたします。
9. 診察や面談の予約時間をお守りください。もし間に合わないときには病院職員にお知らせください。
10. 患者さんの安全のために、ご本人であることの確認をすることがありますので、名前・生年月日を伝える等ご協力ください。
11. 当院では学生実習を行っています。研修・実習へのご理解とご協力をお願いいたします。
12. 院内における動画・写真撮影及び録音とSNS等への投稿をご遠慮いただきますようお願いいたします。
13. 職員や他の患者さんに対してのハラスメント行為、大声や暴言などの脅迫的言動、暴力、職員の業務を妨げる過度な要求などの迷惑行為があった場合には、診療をお断りすることがあります。



人間愛と医の倫理に基づいた患者中心の医療、常に良質で質の高い医療を目指しています。いつでも人命と真摯に向かい合う姿。それが私たちの誇りです。

向き合うのは命



急性期医療・専門治療



救急室
初療室4室を備え、年間6600件の救急受入に対応しています。



中央手術室
中央にあるコントロールセンターから、6部屋の手術の進行状況を把握、管理しています。

最先端の医療と技術

内視鏡による内視鏡下手術、リニアックによるがん治療、先端テクノロジーを使った高度な検査、診断など。妥協を許さない厳しい目で人にやさしい次代の医療に情熱を傾けています。



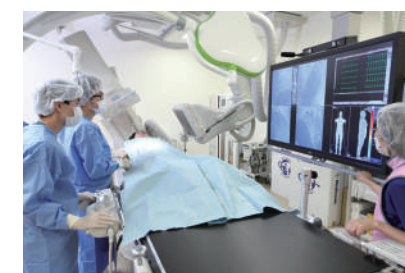
ロボット支援(ダビンチ)手術

手術支援ロボット「ダビンチ」により、人間の手よりも繊細で身体へのダメージの少ない手術が可能です。出血が非常に少なく術後の痛みも軽いため、ほとんどの方が翌日より歩行や食事をすることができます。



腹腔鏡下手術

日本内視鏡外科学会評議員、技術認定医による、外科的内視鏡下手術は年間500件以上になります。消化器・一般外科に携わる外科医が腹腔鏡手術に習熟し、主にがん摘出を手がけています。



経皮的冠動脈形成術(PCI)

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設に認定されています。24時間365日、緊急対応ができる体制を整えています。



リニアック

放射線治療装置(リニアック)では、放射線治療医による根治照射、緩和照射、予防照射を遂行します。(Varian社製 Clinac iX)



PET-CT

大視野LSO検出器を搭載し、高画質、高精度、短時間検査を実現し、患者の負担を軽減します。(SIEMENS社製 True Point Biograph16)



MRI

世界初となる音のしないMRI検査を可能にする新技術「SILENT SCAN」を搭載した装置により、静かで快適な検査環境を提供いたします。(GE社製Discovery MR750w Expert 3.0T)



CT

高齢者、救急など多彩な臨床のニーズに対応した高速かつ高分解能、低被ばくを実現可能にした全身用256列CTを導入しました。(GE社製 Revolution GSI)



24時間・365日 救急医療対応

急病や緊急事故に対して、迅速かつ的確な診断・治療を行える体制で地域に安心を与えます。



がん治療センターの設置、
リニアック・PET-CTの導入、緩和ケア病棟を開棟しました。
知識と技術を備えた専門スタッフが質の高い医療を提供します。

より高度に専門的に



がん治療



①②緩和ケア病棟 ③がん治療センターがんサロン ④リニアック ⑤PET-CT ⑥外来化学療法室

がん治療センター

埼玉県がん診療指定病院として、がん患者さんが安心してがん治療を受けられる体制を備えています。がん治療センターでは、化学療法専門の治療室として外来化学療法室19床、放射線治療としてリニアックを、がんの診断には最新の診断機器としてPET-CTを設置しています。また、がん専門の相談窓口としてがん相談支援センターを備え、一般の方々からの相談にも対応しています。さらに、緩和ケア専門外来、放射線治療専門外来を備え、専門のスタッフが治療およびケアを提供しています。

さらに、がんサロンでは治療中の患者さんがゆったりと過ごしていただけるよう環境に配慮し、がんに関連した図書・パンフレットを設置しており、情報収集の場としてもご利用できます。

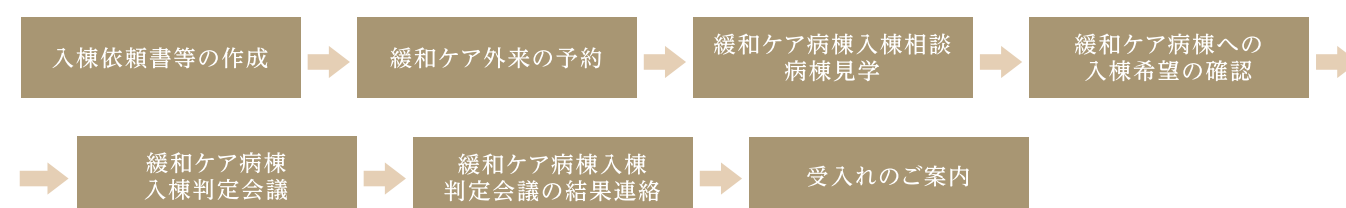
緩和ケア病棟

がんによる痛みや様々な症状、気持ちの辛さなどの苦痛を和らげることを目的とした専門病棟です。通院では治療が困難な患者さんが入院の対象になります。4階の北側に位置し屋上庭園や見沼たんぼが見渡せ、ベッドに横になったままテラスにも出られる構造。また、家族控え室、寝台浴室、瞑想室など、患者さん・ご家族が最適な環境で療養できるよう配慮しています。

緩和ケア病棟の特徴

- 1 症状コントロール**
痛みなどの症状を緩和することで、その人らしく快適な生活を送れるようにケアします。
- 2 ターミナルケア**
おだやかな看取りを支援します。
- 3 在宅支援**
住み慣れた環境で、その人らしく療養できるよう訪問診療医、訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携し、在宅での生活を支援します。また、入院が必要な場合には、いつでも緩和ケア病棟に入院できる体制を整えています。
- 4 レスパイトケア**
在宅療養中の患者さんや介護されるご家族の休息を目的として、予め期間を決めて入院対応いたします。

緩和ケア病棟ご利用までの流れ



まず予防する という考え方

未病領域に属する人々の生活習慣病の早期発見に努めるとともに、エビデンスに基づいた指導で、病気になる医療を実現するために力を注ぎます。

一人ひとりに 最適な医療を

多種多様の医療スタッフが連携し、治療やサポートを進めていく「チーム医療」を行なっています。

予防医療

チーム医療

予防医療センター

当センターは、日本病院協会健康保険組合連合会のドック実施施設に指定されています。熟練した技師による検査、診断撮影、専門医による画像読影・診断を行ない、信頼度の高い人間ドック・健診を目指しています。また女性専用のレディース健診室を設け、人目を気にせずリラックスした状態での健診を提供するなど、受診しやすい環境づくりに取り組んでいます。

教育研修センター

200名を収容できる教育研修センターでは、地域住民を対象とした健康講座を通じて、地域の健康づくりに貢献しています。また、近隣の医療機関との合同カンファレンス、研修会なども行われ、技術習得や地域連携医療にも取り組んでいます。



① オリエンテーションラウンジ
② 予防医療センター受付
③ レディース健診室

チーム医療

様々な職種のスタッフが目的と情報を共有し、患者さんの状況に的確に対応した医療を提供しています。関連職種の専門家たちが医師と平面的な立場に立ち、的確な役割分担とスムーズな連携で主体的に患者さんにかかわることで、その専門性をより発揮し、医療の質を高め安全を確保することができます。また、専門家たちがチームワークを築き、患者さんにとってもよりよい医療の提供につながります。

口腔ケア チーム

口腔環境の快適性の確保、咬む・飲み込むといった口腔機能の維持・回復、QOLの向上に取り組んでいます。

NST (栄養サポート) チーム

低栄養など栄養管理の必要な患者さんに対し、最良の方法で栄養支援していきます。

ICT (感染対策) チーム

院内外の「感染」に関してのコントロール、*感染が起こらない様に、日々活動しています。

排尿ケア チーム

「排尿自立支援加算」「外来排尿自立指導料」の算定となる患者さんに対し、包括的排尿ケアの介入を行います。

現在の医療チーム

RST (呼吸サポート) チーム

「より早い人工呼吸器からの離脱」、「呼吸ケアのレベルアップ」をめざして、患者さん一人ひとりの呼吸をサポートしています。

褥瘡対策 チーム

褥瘡対策はいまや病院全体で取り組む時代です。

リウマチ 膠原病ケア サポート チーム

リウマチ性疾患に対して、多職種と連携を図りながら薬物療法のみならず心のケアを含めたサポートをしています。

AST (抗菌薬適正 使用チーム)

感染症の治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、検査や抗菌薬について支援しています。

心不全 チーム

患者さんの生活環境を把握しながら指導介入を行い、再入院の予防やQOLの維持、退院後のサポートを多職種で行います。

糖尿病療養 チーム

良好な代謝コントロールの維持、合併症の発症を予防し健康人と変わらぬ社会生活を目指し、取り組んでいます。

緩和ケア チーム

がんと共に生きる患者さんの痛みなどの症状や不安に対し、がんによるあらゆる症状の緩和に向けてサポートしていきます。

認知症ケア サポート チーム

認知症患者さんの療養環境の調整やコミュニケーション方法について検討し、安心できる環境で適切な治療を受けられるようサポートを行います。

骨粗鬆症 リエゾン サービス チーム

骨粗鬆症の予防と改善および再骨折を予防することを目的に、多職種が連携して活動しています。

臨床倫理 コンサル テーション チーム

臨床で起こる様々な倫理問題に対して解決をサポートすることで、患者さんやご家族に質の高い医療の提供を目指しています。



地域全体で
日常を見守る

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを
人生の最後まで続けることができる。
地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

地域包括支援

地域包括ケア

高齢化社会を迎え、かかりつけ医(クリニック)～病院～施設～自宅・かかりつけ医といった患者さんを取り巻く流れの中で、地域の住み慣れた環境、日常生活に近い環境での継続されたケアの提供が国の大きな政策となっています。その途切れ無く地域での協同した取り組みを「地域包括ケアシステム」といい、医療・介護・福祉・行政・地域が一体となって、高齢者の生活にかかわりを持つ環境・システムづくりに取り組んでいます。

日常を支える 訪問スタッフ

訪問リハビリテーションでは、利用者さんの生活を考え、目標を明確にしたリハビリテーションを提供しています。訪問看護ステーション(関連施設)では、自宅で療養される患者さんやご家族が安心して生活できるよう、看護師やセラピストが自宅へ訪問し、病状観察、創傷の処置、医療相談、リハビリテーションを提供します。介護保険の申請代行、ケアプランの相談などの介護保険に関する相談にも対応しています。



包括支援ケア



シンボルマークについて

医療法人社団協友会 東大宮総合病院は1982年(昭和57年)の開院以降、長きに渡り地域の皆さまに支えられ、2015年(平成27年)7月に彩の国東大宮メディカルセンターとして生まれ変わりました。新病院へ移転するにあたり、地域の基幹病院として、地域の皆さまに愛され、ホスピタリティの精神で患者さんと感動を共有し、高度な急性期医療が提供できる病院へと飛躍したいという願いから、独自のシンボルマークを制定いたしました。

シンボルマークは、当院の新しいビジョンである3つのQ【①患者満足/Quality of Patient's Experience ②医療の専門性/Quality of Medical Profession ③疾病管理/Quality of Medical Management】を3本のラインで表現し、病院のテーマとなる色を配色しました。春になると病院の目の前には桜並木が登場します。2階フロアのさくらプラザからは満開の桜を一望することができます。シンボルマークの中にある花はその桜をあしらいました。さくらの花びらの一枚一枚は患者さん一人一人をイメージしています。

3つのQualityで患者さんをお守りしていきたいという願いがこめられたマークとなっています。